

凧をつくってあそぼう！

(幼小交流活動)

活動名	「凧をつくってあそぼう！」		1月26日(木)
ねらい	共通	◎一緒に活動することに意欲を持ち、凧づくりや凧あげを楽しむ。	
	幼稚園児	◎交流する中で1年生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ。	
	1年生	◎交流する中で幼稚園児に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ。	
教育課程上のつながり	幼稚園児	【IV期(1~3月)の内容】:○日本の伝統文化に親しみ、生活の中に取り入れて遊ぶ。 …目的に向かって取り組む活動(1月):「凧作り」(お正月あそび)	
	1年生	【生活科】:『きせつと なかよし ふゆ』…「きたかぜと あそぼう」(1~2月)	
この活動で育てたい姿	幼稚園児	<ul style="list-style-type: none"> ●自分なりに考えたり、友だちや1年生とやり方を教え合ったりしながら、凧作りと凧あげを楽しむ。 ●「凧あげをして遊ぶ」という共通の目的をもち、気づいたことを伝え合ったり、一緒に作ったりしながら、友だちや1年生とのかかわりを楽しむ。 ●友だちや1年生と一緒に遊ぶ中で、思ったことや気づいたことを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする楽しさを味わう。 	
	1年生	<ul style="list-style-type: none"> ●風の動きを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、凧を粘り強く作ったり遊んだりする。 ●「一緒に凧であそぶ」というめあてをもち、幼稚園児の様子を気にかけてながら作り方を教えたり手伝ったりする。 ●作ったり遊んだりする中で、思ったことや気づいたことを友だちや幼稚園児に伝えたり、話を聞いたりする。 	
時間	幼稚園児への援助	子どもの姿	1年生への援助
9:15	はじめの会をする。(ドリームホール) 【担当:小学校】		
	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生と一緒に楽しく過ごすことを伝え、安心して活動に参加できるようにする。 ●靴や荷物を置く場所を伝える。(靴は靴箱下段、荷物はドリームホールのベンチ側に置く。) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ステージに向かって並ぶ。 ○元気よく挨拶をする。 ○今日の活動についての話を聞き、興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園児と一緒に楽しく過ごすことを伝え、安心して活動に参加できるようにする。
9:20	凧の作り方について話を聞く。(ワークスペース) 【担当:幼稚園】		
	【凧の作り方】 ① 絵を描いたビニールに、セロハンテープで竹ひごを2本つける。 ② 凧の左右に、小さい竹ヒゴをつけ、セロハンテープで固定し、つまようじで穴を開ける。 ③ 左右の穴に凧糸を通して結ぶ。 ④ 凧につけた凧糸の中央部分と、持ち手のついた凧糸を結ぶ。(教師が手伝う)		
9:30	グループごとに凧作りをする。(1年教室、ワークスペース、学習室) 【担当:小学校・幼稚園】		
	<ul style="list-style-type: none"> ●各テーブルに見本を置き、見たり触ったりしながら作ることが出来るようにする。 ●分からないことがあったら、見本を見ながら一緒に考えるときともに、友だちや小学生にたずねてみるように促す。 ●子どもの姿に応じ、どうしてもうまくいかないところは、手を添えたり一緒に作ったりする。 ●最後に凧糸同士を結び付けるところは、教師が援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎8グループに分け、グループごとに凧作りをする。 ○見本を見ながら、自分なりに考えたり、友だち同士で「こうするといいよ」と話したりしながら製作する。 ○分からないことがあったら、教師や小学生にたずねる。(幼稚園児) ○困っている幼稚園児に声をかけ、アドバイスをしたり手伝ったりする。(1年生) ○最後に凧糸同士を結び付けるところは教師に手伝ってもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各テーブルに見本を置き、見たり触ったりしながら作ることが出来るようにする。 ●分からないことがあったら、見本を見ながら一緒に考えるときともに、友だちにたずねてみるように促す。 ●幼稚園児に声をかける姿を褒めて認めるとともに、幼稚園児が困っていたら、教えてあげるよう促す。 ●最後に凧糸同士を結び付けるところは、教師が援助する。
10:10	休憩をする。(1年教室、ワークスペース、学習室) 【担当:幼稚園】		
	<ul style="list-style-type: none"> ●ドリームホールで水分補給と休憩をとるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎トイレに行ったり、水分補給をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教室で水分補給と休憩をとるように伝える。

10:20	凧あげの仕方について話を聞く。(ワークスペース)【担当：幼稚園】		
	<p style="text-align: center;">【凧あげの仕方】</p> <p>① お友だちと距離をあけ、ぶつからないように気を付ける。 (風があれば、走らなくてもあがることを伝える。)</p> <p>② 凧糸は右手と左手を使ってしっかり持ち、手を離さないようにする。(持ち方・引き方を確認する。)</p> <p>③ 凧が地面に落ちた時は、凧を引っ張らずに、自分が動いて凧糸を巻くようにする。</p>		
10:25	●見本を提示しながら説明することで、見通しが持てるようにする。	◎見本を見ながら説明を聞き、凧あげの仕方を自分なりにイメージする。	●見本を提示しながら説明することで、見通しが持てるようにする。
	凧あげをする。(校庭) 【担当：小学校・幼稚園】		
10:50	●自分たちで考えて遊ぶ姿を見守り、必要に応じて声をかけるようにする。	◎自分なりに工夫したり、友だち同士で気づいたことを伝え合ったりしながら、凧あげを楽しむ。	●自分たちで考えて遊ぶ姿を見守り、必要に応じて声をかけるようにする。
	●子どもの言葉に共感することで思いを認め、気持ちよさを味わえるようにする。	○凧がうまくあがったことを喜び、友だちや教師に知らせる。	●すすんで幼稚園児とかかわる姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。
11:00	●様子を見守り、うまくあがらない時や凧糸が絡まった時は、必要に応じて個別に援助をする。	○思うように凧があがらなかったり、糸が絡まったりして、友だちや教師に援助を求める。	●様子を見守り、うまくあがらない時や凧糸が絡まった時は、必要に応じて個別に援助をする。
	振り返りをする。(ドリームホール) 【担当：小学校】		
11:00	●子どもの言葉に共感するとともに、うまく話せない時は教師が思いを代弁して伝えるようにする。	◎感想を話したい人は前に並び、楽しかったことや気づいたことなどを、みんなの前で話す。 (1年生→幼稚園児)	●子どもの言葉に共感するとともに、自分の思いを話す姿を褒めて認め、気持ちよさを味わえるようにする。
	●小学生の話し方に意識を向けるように促す。	○話している人の目を見て話を聞く。また、話が終わったら拍手をする。	●思ったこと、伝え合いでよかったことの2つの振り返りをする伝える
11:00	●楽しかった交流会の思い出を共有し、就学へ期待を持てるようにする。	◎1年間の交流会で楽しかったことを伝え合う。	●楽しかった交流会の思い出を共有し、進級することへの期待を持てるようにする。
		◎さよならをする。	

- 《幼稚園児が用意する物》**
- シューズ
 - 運動帽子
 - 名札
 - 水筒
 - 絵を描いた凧
(両端に両面テープをつける)

- 《小学生が用意する物》**
- シューズ
 - 運動帽子
 - 名札
 - 水筒
 - 絵を描いた凧
(両端に両面テープをつける)

- 《教師が用意する物》**
- 凧糸 (幼・小)
 - 竹ひご (幼)
 - つまようじ (幼)
 - セロハンテープ (幼・小)
 - 凧の見本 (幼)
 - 両面テープ (幼)

【環境設定】

